



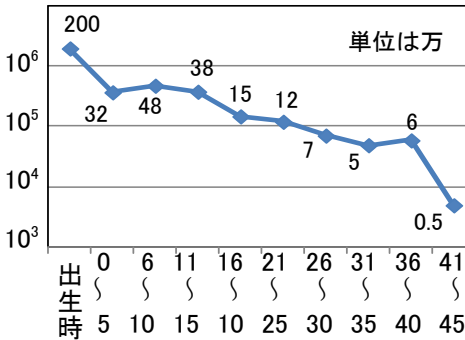
## 卵子が老化するって本当？ 高齢妊娠の真の問題点は？

2月14日のNHK総合テレビの「クローズアップ現代」で、「産みたいのに産めない～卵子老化の衝撃～」が放送され反響を呼んでいます。このことについてへその緒流に解説します。

### 卵子は出生時が最多 卵子の細胞分裂も出生時に始まり排卵まで長期休止している

出生時に200万個あった卵子は、思春期に20～30万個となり以後漸減していきます。特に37歳以後は著しく減少し、5年間で十分の1になります。また卵子は2回の細胞分裂を経て受精していくのですが、その1回目の細胞分裂は出生時に始まり、思春期以降に排卵するまで休止しています。従って40歳で排卵する卵子は40年かかって細胞分裂を終えたことになり、この間に種々の環境因子に暴露される危険性があります。このように、卵子は新しく作られるものではないのです。

女性の卵巣中の卵子数の年齢による推移



番組では35歳の女性が「避妊は教わったけど、

卵子が老化するなんて誰も教えてくれなかった」と語っていたのが印象的でした。アンチエイジングが喧伝される現代。見た目の若さは得られても、卵子は年齢とともに確実に古くなっていき、その数も減っていくのです。

### 高齢出産のリスクは有名だが、実は高齢の最大の問題点は妊娠しにくいことにある

高齢出産に危険性があることは、どなたでも耳にしたことがあるでしょう。しかし高齢の最大の問題点は、そもそも妊娠しにくいことと、妊娠しても流産しやすいことなのです。

下の表は年齢群別にみた妊娠・出産に関連する異常の頻度をまとめたものです。女性の年齢が高くなるほど不妊症の率は増え、妊娠しても流産する確率が上昇します。この結果、結婚年齢が35歳以上、40歳以上では、子どもを持てる確率はそれぞれ70%、36%に低下します。

右の図のように体外受精の妊娠率も年齢に大きく左右されます。37歳を過ぎると妊娠率が低下しはじめるとともに、流産するケースが増えてきます。当院の出産例は最高で44歳、凍結胚で45歳ですが、やはり若いうちに妊娠していくことがいかに大切であるか分かります。

### 高齢出産は十分注意すべきだが、そのリスクは産科的努力などである程度克服可能

「高齢出産」の定義が昔は30歳以上だったのが、1992年から35歳以上に引き上げられました。

これは産科医療の進歩で出産の安全性が高まったことが大きな要因です、しかし40歳を超えると高血圧、糖尿病などの内科的疾患や子宮筋腫なども増えてくるので注意が必要です。出産そのものは、高齢の場合やや遷延する傾向はありますが、妊婦さんが冷静な場合が多く、帝王切開という「切り札」もありますので、不妊・流産ほどの著しいハンディはありません。赤ちゃんの予後不良(周産期死亡)は若い人の2倍程度です。一方母体死亡は極めて稀ですが10倍であり、脳出血、血栓症等に注意しつつ慎重な扱いを要します。

なお高齢の場合子宮口が開きにくく、前期破水等による超早期の早産は少ない傾向があります。ほんの少しですが良いこともあります。

### 20代半ばで結婚できて子どもが産める社会にこれは有力な少子化対策でもある

例えば家を建てる場合、資金が完全に貯まるのを待っていては年をとるまで買えません。住宅ローンを利用し若い時期に買って、住みながらローンを返済していくでしょう。妊娠・出産も同じこと、40歳過ぎになって仕事、お金のゆとりができてからでは難しくなってしまいます。20～30代の方々に、住宅ローンならぬ子育て支援と、雇用の確保をもっと手厚く行うべきです。わが国ではこうした家族分野への支出は4.2%しかなく、先進国平均9.5%の半分以下なのです。企業などにも、女性社員が産休・育休を十分取ってまた復帰できるような環境整備が求められます。こうすれば、最も力が出る40代50代の時に子どもの手も離れ、バリバリ働いてもらえます。

こうして最も妊娠しやすかつ安全に出産できる年代の方々がバンバン妊娠される社会になれば、少子化も自ずと好転するでしょう。もちろん分かっているやむなく年齢を重ねてから妊娠、出産に臨まれる方もいらっしゃるでしょう。その場合、当院がお手伝いします。

年齢群別にみた妊娠・出産に関連する異常の発生する割合 (数字はすべてパーセント、\*は当院のデータ、他は文献による)

年齢群	不妊率	流産率	挙児確率	早産	遷延分娩*	帝王切開率*	ダウン症	周産期死亡	母体死亡
20～24	7.0	16.7	94	7.2	3.9	17.8	0.07	0.49	0.004
25～29	8.9	11.0	91	6.2	4.3	20.9	0.09	0.44	0.002
30～34	14.6	10.0	85	7.7	4.9	31.0	0.14	0.50	0.008
35～39	21.9	20.7	70	9.4	6.2	35.1	0.47	0.75	0.014
40～44	28.7	41.3	36	11.6	9.4	47.5	1.21	1.01	0.022

### 妊娠で年齢が高いと不利なこと

1. 妊娠しにくい
2. 流産が多い
3. なし
4. なし
5. 高血圧、筋腫等が増える
6. 子育てが体力的にキツイ?
7. ダウン症等の率が増える
8. 出産が難産になりやすい

### 妊娠で年齢が高いと有利なこと

1. 早産(前期破水)が少ない
2. 出産時冷静な場合が多い
3. 人生経験を活かした子育て

% 当院の体外受精の年齢群別妊娠率

